

会議録(1)

会議の名称	第1回飯能市地域包括支援センター運営等協議会
開催日時	平成29年5月24日(水) 開会 午後1時30分 閉会 午後3時15分
開催場所	飯能市総合福祉センター 3階 会議室1
会長氏名	大野 康
出席委員	池田 徳幸 打田 瑠美 大野 康 大和田 正子 桑山 和子 齋藤 明 志田 朝夫 角田 七重 林 真由美
欠席委員	
傍聴者の数	0人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局	健康福祉部長 島田 茂 参事兼介護福祉課長 須田 浩 主幹 大河原 正好 主査 高橋 孝子 主査 平沼 正行 主査 泉田 みどり 主事補 脇坂 風花

会議録(2)

議事の概要（経過）・決定事項

- 1 開会
- 2 大野会長あいさつ
- 3 須田参事あいさつ
- 4 議題
 - (1) 地域包括支援センターについて
 - ① 地域包括支援センターの活動報告について
－承認－
 - ② 平成28年度各地域包括支援センターの総括について
－承認－
 - ③ 平成29年度各地域包括支援センターの運営方針について
－承認－
 - ④ 地域包括支援センターの職員変更について
－承認－
 - (2) 地域密着型サービス整備事業者の選定について
－承認－
 - (3) その他
次回の運営等協議会は8月23日（水）を予定している旨説明。
- 5 島田部長あいさつ
- 6 閉会

会議録(3)

発言者	発言内容
平沼主査	(開会)
大野会長	(あいさつ)
須田参事	(あいさつ及び職員の自己紹介)
大野会長	それでは、「①地域包括支援センターの活動報告」を議題とする。 (以下非公開議事)
大野会長	それでは、次の「②平成28年度各地域包括支援センターの総括について」を議題とする。

	<p>(資料に基づき説明：資料5-1から5-5)</p> <p>業務が増えているので、対応が非常に大変だと感じている。専門職の集まりでもあるので、問題を解決しながら前向きに進んでほしい。他の機関との連携も取れているのが飯能市包括の救いである。</p>
<p>平沼主査 池田委員</p>	<p>困難ケースは必ず事業所がついているので、包括だけでなく一緒に対応しており、関係性も良い。しかし、普通の人には生活支援コーディネーターと言ってもわからない。平成30年度からの新しい総合事業の見える化が必要である。今後の介護予防について包括がどのような役割を担っていくのか、市の方で示していただければと思う。</p>
<p>桑山委員</p>	<p>関係機関で連携が取れており、市としての体制ができている。みなみ町職員に対しては、なるべく市や基幹型に積極的に相談するよう話している。市全体で困難事例に立ち向かっていければと思う。</p>
<p>角田委員</p>	<p>今年度は第7期計画の策定もある。以前、包括の数を増やすよりも中身を充実させる方を選んだ経緯があるが、市としては各包括の事務量や人員の適正配置等、スピードを持って進めていかないといけない。時間外労働は避ける方向で、職員の負担は減らさないといけない。</p>
<p>大野会長</p>	<p>さかえ町エリアは団地が多く、ケースも多いので、在支があると助かる。</p> <p>続いて、「③平成29年度各地域包括支援センターの運営方針について」を議題とする。</p>
<p>桑山委員</p>	<p>(資料に基づき説明：資料6-1から6-5)</p>
<p>大野会長</p>	<p>みなみ町の運営方針の中で、「権利擁護業務」についての項目のまとめ方が具体的、建設的、積極的で素晴らしい。こうした資料作成をしていただくと非常に助かるし、次に繋がる。</p>
<p>平沼主査</p>	<p>続いて、「④地域包括支援センターの職員変更について」を議題とする。</p>
<p>志田委員</p>	<p>(資料に基づき説明：資料8)</p>

大野会長	承認する。
平沼主査	続いて、「(2) 地域密着型サービス整備事業者の選定について」を議題とする。
全委員	(資料に基づき説明)
大野会長	(資料に基づき説明)
須田参事	確認だが、この運営協議会は地域密着型サービス事業者を選定するわけではないのか。
大河原主幹	決定権はあくまでも市長にある。運営協議会では整備するにあたってのご意見をいただきたい。
大野会長	応募なしの箇所(①定期巡回・即時対応型訪問介護看護、③認知症対応型通所介護)については大丈夫なのか。 また、①と③は飯能市内にあるのか。
須田参事	飯能市内にはどちらも無い。①については県にも照会をかけており、色々なことを今後検討していきたい。もし、この1年でできなければ、第7期の計画にも載せていきたいと考えている。
打田委員	③はグループホームの中でもやる気になれば通所介護もとれる。たんぽぽでは訪問看護をやっており、24時間体制で対応可能だが、訪問介護では24時間体制はとっていない。要望はたくさんあるのか。
大河原主幹	市には来ていない。
桑山委員	吾野などの山間部では深夜帯での移動などを考えると難しい部分もあるのではないか。
大河原主幹	国の示しているものは都市型で、地方とはズレがあるのではないか。飯能市版として、必要なものは何かということをも第7期計画の中に盛り込んでほしい。
桑山委員	最後の「(3) その他」を議題とする。
大野会長	次回の運営等協議会は、8月23日(水)に開催予定。場所は、飯

平沼主査	<p>能市役所本庁舎別館 2階 会議室 3。</p> <p>資料 7-1、7-2 は委員向けの資料で、市民は知ることはできないのか。</p> <p>一般には示していないものである。</p>
大野会長	<p>教えてはいけない数字なのか。知っていてもいいのでは。</p> <p>一般には知りえない貴重な資料として理解してはどうか。</p>
平沼主査	<p>市民に隠すわけではなく、配慮した提示の仕方が必要である。</p>
打田委員 志田委員 大野会長	<p>地域包括支援センターの運営方針について、権利擁護業務は「司法書士」や「ばあとなあ」等の言葉は出てくるが、「弁護士会」という言葉が出てこない。弁護士が身近に感じていただけていないようである。高齢者虐待については専門職チームもあり、市に法的な観点からもアドバイスしている。福祉分野とは違った切り口で解決の糸口になるかと思うので、連携をとっていただき、利用してもらえればと思う。</p>
林委員 齋藤委員	<p>大家が発見した虐待ケースについて、福祉に携わる者より大家の方が関わりが多かったのか。それを考える必要がある。虐待対策にスピード感、緊張感が必要である。</p> <p>地域ケア会議についても自立型、問題解決型があり、自立型は毎月定期的に行っているが、問題解決型については、突発的に問題が出た時にパワーがかけられるようにすると包括のスキルアップに繋がり、地域の安全にも繋がるのではないかと。</p>
大野会長	<p>関わる順序、早さなど、最初の選択肢を過去の事例から導き出し、情報を皆で共有した上で緊急対応を行ってほしい。</p> <p>包括の仕事量が多いので、ケアマネ協議会でも手伝いたい。ケアマネにも地域に出る機会を作りたい。認知症カフェについては、包括だけでなく、居宅のケアマネも参加すれば裾野も広がり、包括の負担も軽減できるのではないかと。</p>
大和田委員	<p>認知症カフェに参加している家族は認知症に対して理解があるが、参加できない家族が多い。認知症高齢者を抱える家族は大変な苦勞をしている。救いたいが、どうしていいかわからない。専門的な知識が</p>

<p>打田委員</p> <p>大野会長</p> <p>島田部長</p> <p>志田委員</p> <p>平沼主査</p>	<p>あるとありがたい。</p> <p>飯能日高のワールドカフェで他職種連携をやっており、薬局や接骨院など認知症相談窓口を増やしている。そこで問題解決するわけではなく、相談すると包括などに繋がるようになっている。</p> <p>ツデーマーチで PR 活動を行うなど身近に感じてもらうよう努めている。今後は子供たちにも関わってもらい、温かい見守りが子供を通して広がるようにしたい。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>(あいさつ)</p> <p>(閉会)</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	